出張報告書

平成28年4月26日

市議会議長 様

会 派 名 刷新クラブ

代表者氏名 京西 且哲

下記のとおり報告します。

記

1 目 的

- ① 岡崎市：中小企業支援制度について
- ② 美濃加茂市：クラウドファンディング事業について

2 出 張 先

- ① 岡崎市：岡崎市役所
- ② 美濃加茂市：美濃加茂市役所

3 出張期間 平成28年4月20日～平成28年4月21日

4 出張者氏名 京西且哲・西田武史・金子拓矢

5 てん末報告 別紙とおり

岡崎市：中小企業支援制度について

説明者：岡崎市経済振興部商工労政課 課長 河合剛志氏

同課商工振興班 班長 杉浦亮氏

報告事項：岡崎市では市内商工業の活性化を図るため、市内中小企業に対し補助金の交付やセミナーの開催などの支援を行ってきたものの、活性化の糸口が見いだせない状況が続いた。そこで、平成24年に市内の事業者へアンケート調査を行った結果、ほぼ全ての事業者が売り上げ向上への課題を抱えており、さらにそのうちの約三割がどこにも相談できていないことを把握した。市はこの問題を解決するため、まずは他市の先行事例の研究を始めることになるが、注目したのは静岡県富士市で取り組まれていた富士市産業支援センター「f-Biz」である。そして、この「f-Biz」をモデルとして、平成25年10月から「岡崎ビジネスサポートセンター」通称「オカBiz」を岡崎商工会議所との共同で立ち上げるに至る。さらに翌年には地元の岡崎信用金庫とも提携し行員の派遣協力を得てより充実した事業者支援を行う体制を作っている。このように関係者の弛まぬ努力は実を結び、年間相談件数1400件以上は当初目標比で二倍以上となる。かつ、相談者の創業件数は年間30件を超

えており、「オカビズ」が市の活性化に役立っていることは間違いな
い。

先行事例を調査研究することの大切さを確認できた。本市でも導入
を図るべき事業である。

美濃加茂市：クラウドファンディング事業について

説明者：美濃加茂市議会事務局 局長 梅村真一氏

同市健康福祉部こども課 課長 斎木竜介氏

同市産業振興部産業振興課営業戦略係 係長 山田智也氏

報告事項：美濃加茂市は中山道太田宿の宿場町として栄えてきた「まち」である。他市同様にこれまで地域の活性化を何度も試みるが、上手くいかない現実があった。そこで中山道は通称「姫街道」とも呼ばれてきた歴史にヒントを得、女性の力で活性化を図れないかと考えた。具体的には子育てをしながら起業する方の夢を実現させることを核とした取り組みである。常に相談できる窓口として、「姫 Biz」を平成26年に設立している。但し「姫 Biz」は女性のみ相談者を限定しているのではなく女性が相談しやすい窓口を目指したものである。

起業するとなると資金の問題と本当に商品が売れるのかという問題が大きいので、両方に資する可能性が高いクラウドファンディングの導入を決めた。ファンディングサイトを運営する事業者の選定は非常に重要であるとのことである。

現在までに8つのプロジェクトを立ち上げ、既にそのうち5つのプ

プロジェクトについては目的を達成している。

中でも蛭丸という伝説の太刀を復元するプロジェクトは全国的にその名を知らしめたプロジェクトとなり大成功を収めている。

隣接する三市で連携して取り組んでいることも大きくこの事業の成功に寄与している。

クラウドファンディングも市の活性化への一つの手段として本市でも調査研究をすべきであると考えます。